

まちづくり
だより

かみてる

NO. 55

広報

2018 12/15号

第42回

神照ふれあいフェスティバル



発行 神照地区地域づくり協議会 (ホームページアドレス <http://kamiteru-machisen.jp>)

問い合わせ 神照まちづくりセンター 神照町 286-1 TEL 62-0265 FAX 64-2752

第42回 神照ふれあいフェスティバルを振り返って

秋の晴れ間が広がった10月27日（土）、28日（日）の2日間、第42回神照ふれあいフェスティバルが神照まちづくりセンターにおいて盛大に開催されました。

多目的ホールでは神照まちづくりセンターで活動されているサークル14団体が日本舞踊や、太極拳、詩吟や和太鼓の演奏等、多種多様な内容でステージを盛り上げていただきました。

展示発表のサークル5団体は、生け花や陶芸等で当センターを鮮やかに彩っていただきました。また、長浜北中吹奏楽部の演奏や神照幼稚園のお遊戯、北保育園の鼓隊の演奏はとても微笑ましく、観客の心を和ませてくれました。

野外の模擬店では、焼き鳥や大判焼き、カレーライスや焼きそば等、様々な食べ物が販売されました。お昼のふるまい餅には、数多くの方が行列に並ばれました。

その他、紙すき体験教室や、こども広場、人権コーナーや味噌汁の塩分チェックブース等、様々な催しがありました。駐車場ではアンパンマン号が子どもたちを乗せてかっこよく走り、フェスティバルの最後は、恒例のビンゴゲームで大いに盛り上がりました。

本当に賑やかな、楽しい2日間となりました。

立華サークル



スーパーボールすくい（青少年ブース）

人権コーナー



風・太極拳サークル

模擬店等

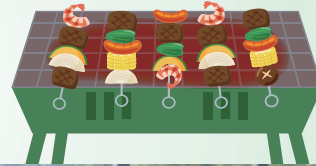


アンパンマン号 出発進行！

デイキャンプ 神照地区青少年育成会議

9月29日（土）に神照地区にお住まいの小学生と保護者を対象に、高島市の青少年ガリバー旅行村までバスで出かけてデイキャンプを行いました。キャンプ場では、アイスクリーム作りや防災用のビニール袋での炊飯を体験したり、ドッチビーやバーベキューを楽しむことができました。

参加者はスタッフを含めて90名近くになり、賑やかなキャンプとなりました。当日は台風24号が近畿地方に接近したため、あいにくの雨模様となりましたが、様々な体験ができて子どもたちには思い出に残るキャンプとなったことでしょう。



さつまいもほり 神照地区青少年育成会議

10月6日（土）に毎年恒例の収穫体験（さつまいも・もち米）を下之郷町の田畑をお借りして行いました。台風25号の影響で、もち米の刈り取り体験はできず、さつまいも掘りのみの収穫体験となりましたが、当日は、30名近くの小学生と保護者の方が参加してくださいました。

今年は、鳴門金時、紅あずま、安納芋の3種類

の苗を、5月に本事業で子どもたちが植えていました。3種類のさつまいもは立派に生長しており、子どもたちは、大きさや形、色など、それぞれに違う芋掘りを、泥んこになりながら楽しんでいました。

おみやげに持ち帰られたさつまいもは、ご家族でおいしくお召し上がりいただきました。（^.^）



高齢者と園児とのふれあい交流会 神照地区社会福祉協議会

11月13日（火）、神照まちづくりセンター多目的ホールにて、「高齢者と園児とのふれあい交流会」が開催され、神照幼稚園児、北保育園児と一人暮らしの高齢者の方等、200人以上の方にご参加いただきました。

午前の部は、園児の歌やピエロさんの人形劇等があり、午後の部では、「琴・四季の会」による大正琴の演奏があり、参加者の方は、ほんのひと時でしたがみんなで一緒に楽しい時間を過ごされたことと思います。

無邪気な園児たちと、一緒に微笑ましく食事をされておられた高齢者の方とのふれあい交流会は、来年度もぜひ実施したいと思います。



第49回 神照親善ソフトボール大会

優勝 相撲町

準優勝 八幡中山町（A）

第3位 泉町・国友町

9月23日（日）に長浜北小学校、神照小学校運動場を会場に17チーム約240名の選手が参加された第49回神照親善ソフトボール大会は、大熱戦の末、相撲町チームが優勝されました。



神照連合自治会から市に要望

9月5日（水）に神照連合自治会正副自治会長が、藤井市長と松本市議会議長に今年度の自治会要望を手渡しました。

地区全体要望として

①安全安心な社会実現のための体制強化～災害、
交通～5項目

②住みやすいまちづくり2項目 について要望しました。

主な要望内容は、自然災害にかかる課題を踏まえた今後の対策や交差点への信号機設置、市道擁護の改修、大井川地区整備計画の早期実現などです。

また、各自治会から提出された個別要望48項目についても併せて要望しました。



神照地区防災研修会

神照地区地域づくり協議会主催の防災研修会が8月26日（日）神照まちづくりセンターにて、自治会役員や自警団員などを対象に、また地元選出の市会議員の方にもお越しいただき、盛大に開催されました。

まずは、長浜市役所防災危機管理局の方より

①大地震に備えて

②自主防災について、 の講演を聞き、

その後長浜市社会福祉協議会の担当者により、避難所運営ゲーム（HUG）を参加者全員で運営体験をしていただきました。

最初の講演では、最近の日本の災害状況について何枚もの写真で現実を知り、次に災害に備えるには身の回りの対策や用意しておくもの等について学びました。



次の避難所運営ゲームでは、避難所を運営する立場になった時どのように対応をすればいいのか。いざという時の生活空間となる避難所、地域の様々な方の避難先として大人数での共同生活の場となる避難所の運営について研修しました。

神照地区の防災研修会は今年で5回目となりました。近年の日本の自然災害の状況を思う時、どこにいつ大災害がやってくるかわかりません。日頃からしっかりとした備えを一人一人が行う必要性を感じました。

地域づくり協議会では、このような研修会を今後とも開催していく予定です。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

一口メモ

“姉川地震”について

明治42（1909）年8月14日15時31分、姉川上流付近を震源として発生。マグニチュード6.8の内陸直下型地震で、長浜市では最大震度6、滋賀県内全域で5～4を記録した。

県内では死者35人、全壊家屋972戸、半壊家屋2367戸の被害が出た。特にJR虎姫駅周辺などで大きな被害があった。



まちづくりセンター防災訓練

9月15日（土）、11月14日（水）に神照まちづくりセンターにおいて、地域づくり協議会、まちづくりセンター職員、及び当日の施設利用者を対象に消防訓練を実施しました。9月15日は、湖北地域消防本部2名の職員の方から、火災時の対応について親切、丁寧にご指導いただきました。



～神照ふるさと紀行～

十里街道 ものがたり

神照地区には、地区を南北に走る十里街道と呼ばれる古い街道があります。この街道にはどのような歴史があるのでしょうか。

長浜市史等によりますと、十里街道は現在の大通寺東側の日吉神社付近より北にほぼ一直線に伸びる道で、湖北各地と長浜の町とを結ぶ道として利用され、自動車による移動が現在のよう発展する前には、たくさんの人々がこの十里街道を往来していたそうです。湖北各地の村々の方は、当時、「夏中さん」や「えびす講」などを楽しみに、胸をふくらませて長浜の町へと足を運んでいたのでしょうか。長浜別院大通寺と五村別院との往来にもこの街道は大いに利用されたことでしょう。

しかしながら、そもそもいつから「十里街道」という名前がついたのでしょうか。当時の資料を確認したり地元の方にお伺いしたりしましたが、その名称に関する正確な情報を得ることはできませんでした。

江戸時代以前の文献には「十里街道」という名称は出てこないようです。「東浅井郡志」には、「坂田郡神照村下郷より来りて、大井に入り、虎姫村の中部を貫き、小谷村二俣に至りて、北國街道脇往還に合す。起点は坂田郡長濱町字錦町の長浜道に在り」と記されています。北國街道や山西街道のような個別の名前は、江戸時代以前にはついていなかったようです。

街道とは場所と場所を繋ぐ交通路であり、そして地元の人々を繋ぎ、またその土地にきた旅人には、深い思い出を与えたことでしょう。

推測になりますが、明治、大正時代になり、長浜が浜ちりめんにより賑わっていく過程で、湖北各地の人々が、商売や娯楽のために長浜中心街へ赴く時、「十里街道」が非常に便利な街道となっていったのかもしれませんが。街道を北から南へ向かうと、現在の十里町付近から、店が立ち並ぶ賑わいがあったのかもしれませんが。

今、改めて昭和時代の十里街道の写真を眺めると、子どもの頃の懐かしい思い出がよみがえってきます。

時が過ぎて昔の十里街道の面影が無くなっても、街道の名前だけが変わらず残っていることに、何か先人からの歴史の積み重ねを感じるような気がします。

※参考文献：みーな84号

▶現在の十里街道



▶昭和30年代の十里街道



舗装の完成式。
分木町の柏屋老舗付近（昭和34年撮影）

編集後記

10月27、28日に開催された神照ふれあいフェスティバルは、今年で第42回目を迎えました。開催にあたりましては、ボランティアの方々や各種団体様のご協力、イベントにご出演いただいた方やご出展いただいた方々、そしてご来場いただいた多くの人々のご協力で、今年度も盛大に実施することができました。ありがとうございました。

このような大きなイベントは、多くのおみなさんのご協力が必要ですが、地域の方同士のつながりやふれあいの場として、来年度以降も実施していければと感じました。よろしくお願ひします。

神照地区地域づくり協議会 広報委員会